



岡 津



「つなぐ 自らの成長を自覚し、
適切に行動できる岡津っ子」

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/okazu/>



学校だより 9月号
令和8年8月27日

横浜市立岡津小学校
校長 板垣 久美

TEL 811-4104

FAX 812-4586

一人ひとりのペースで

校長 板垣 久美

40日間の夏休みが明け、学校に子どもたちの元気な声と笑顔が戻ってきました。大きな事故や怪我がなく、こうして無事にみんなでこの日を迎えられたことを何よりもうれしく思います。ご家庭や地域での温かい見守りに感謝申し上げます。

この夏休みに大きな自然災害に見舞われた地域もあります。熊本県での大規模な地震、千葉県を中心とした記録的な集中豪雨で被災された多くの方々、また関係者の方々に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興を願っております。自分たちには何ができるかを考え行動したり、学校として命を守る安全指導や防災訓練をさらに徹底したりしていく必要があると考えています。

7月17日の朝会において、夏休みには様々なことにチャレンジしましょうと子どもたちに伝えました。私は夏休み中にやりたいことの一つとして、本を10冊以上読むと話しました。小説や教育に関する本などを読みましたが、改めて国語の教科書に関連する本も読んでみました。その中に、「絵とき ゾウの時間とネズミの時間」(本川達雄 文・あべ弘士 絵 福音館書店)があります。人間の心臓は1分間に60~70回うちます。ネズミの心臓はドキドキドキドキと人間の10倍も速く、1分間に600回近くうち、短い一生を終えるそうです。一方、ゾウの心臓は1分間に30回ゆっくりとうち、時間ものんびりと流れているようです。人間が使う時計で測ると、ネズミの寿命は短いですが、実は一生の間にうつ心臓の拍動数は、ゾウもネズミも同じ15億回なのだそうです。つまり、ネズミにはネズミの、ゾウにはゾウの時間の流れがあり、動物たちはそれぞれに違った自分の時間があります。自分に合ったペースで一生懸命に自分の命を生きているということです。

これは子どもたちの取組にも同じことが言えるのではないのでしょうか。学習や遊び、行事などに対する子どもたち一人ひとりのペースは違います。誰かと比べるのではなく、自分のペースを大切にしながら、昨日の自分より一歩前へ進むことを大切にしてほしいと思います。まずは、学校生活に慣れることから始め、友達と協力しながら学習を進めてほしいと願っています。また、10月17日に予定している「岡津っ子スポーツ DAY」に向けて、心臓を響かせ、一生懸命に努力する姿を見せてくれることを楽しみにしています。私たち職員は子どもたち一人ひとりの様子をじっくり見守り、深く理解し、一人ひとりのペースに合った声かけ、支援をしていきたいと考えています。

夏休み明けも様々な行事が続きます。今後も、岡津小学校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。